

田原地域実質化された京カ農場プラン

市町村名	地域名 (該当集落名)		当初作成年月	更新年月
宮津市	田原	田原	平成28年1月	令和3年3月

1 対象地区の現状

a 地区内の耕地面積	18.40 ha
b アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	12.47 ha
c 地区内における80歳以上の農業者の耕作面積の合計	9.70 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.48 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	7.69 ha
d 地区内において今後中核的担い手が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.10 ha
e 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.00 ha
(備考)	
dは、5年以内に引受意向のある面積	

2 対象地区の課題

課題

今後5年間で規模縮小が見込まれる面積が1.1haあるため、これらの農地の受け皿を個人又は営農組合で調整する必要がある。また、80歳以上の耕作者の耕作面積は今後10年間で2.3haから6.3haまで増加する見込み。これらの農地の受け皿は、営農組合や現在の主力である60代、5年後以降に規模拡大が見込まれる50代が想定されるものの、全ての農地を維持することは難しいと考えられる。加えて、いずれの経営体も後継者が不在、かつ、現在の50代より下の世代がほぼ不在であるため、新たな担い手の確保が大きな課題。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中核的担い手を中心に農地集約による農地利用の効率化を進める。